



平成 25 年 4 月 19 日

各 位

会 社 名 ディナベック株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 長谷川 護
本社所在地 茨城県つくば市大久保 6 番
問 合 せ 先 取締役管理部長 谷田洋平
電 話 番 号 029 - 877 - 5155 (代 表)

「樹状細胞の大量製造法」に関する日本における特許成立のお知らせ

ディナベック株式会社(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:長谷川護、以下「当社」という)の「樹状細胞の大量製造法」についての特許が日本において成立したことをお知らせ致します。

樹状細胞¹は近年盛んにおこなわれているがん免疫療法²において中心的な役割を果たしている細胞ですが、患者さんから治療に十分な量を取得することが困難なことが多く、同療法の効果を高める上でこの点の改良が望ましいと考えられてきました。

本特許は骨髓や血液から分離した樹状細胞の前駆細胞をこれまでにない高効率で増殖させることができる画期的技術に関するものであり、増殖した前駆細胞から免疫活性のある活性化樹状細胞を大量に製造することを可能にしました。今後、樹状細胞を用いるがん免疫療法(がん樹状細胞療法³)の効果を高めることにより、同療法のさらなる普及が期待されます。

1：樹状細胞について

樹状細胞(DC:dendritic cell)は血球の一種で、血流に乗って全身を回りながらがん細胞などの異常な細胞を発見するとそれを飲み込んで除去するとともに、それを攻撃する他のリンパ球を活性化する機能を持っています。

2：がん免疫療法について

がんの三大基本療法(化学療法、放射線療法および外科手術)を補完する療法として有力視されているもので、患者自身の樹状細胞などの免疫担当細胞を使用して、患者の免疫機能を向上させ、がん細胞を除去または増殖を抑えることを目的としている治療法です。本療法により、がん細胞の増殖抑制に加え、進行がんにおける基本療法後の再発、転移の予防に対しても効果が期待されます。

3：がん樹状細胞療法について

樹状細胞を使用するいわゆるがん免疫療法のひとつであり、患者の骨髄や血流から樹状細胞またはその前駆体細胞を取り出し、がん細胞を破碎したもの、またはがん抗原などで刺激し、患者の体内に戻してがんを治療する試みです。がん樹状細胞療法では、治療に用いる樹状細胞の数を多くすることで治療効果が向上することが明らかになっています。

会社概要

ディナベック株式会社

設立：平成 15 年 9 月 5 日

代表者：代表取締役社長 長谷川 護

本社所在地：茨城県つくば市大久保 6 番

事業内容：遺伝子医薬品、細胞・再生医療、バイオ製品の研究開発と販売等

以 上